

◆症例検討

テーマ 「胸部単純X線の基本事項と見落とししやすい症例について」

講師 呼吸器内科医長 小嶋 徹 先生

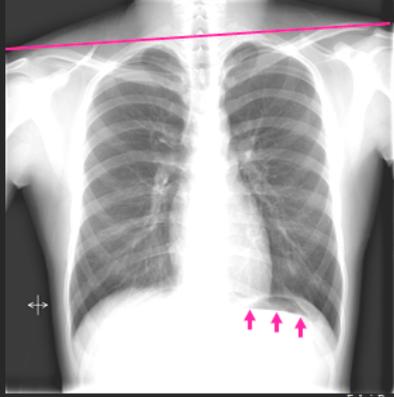
〈病診連携カンファレンス〉

胸部単純X線の基本事項と見落としやすい症例について

2011年4月28日  
呼吸器内科 小嶋 徹

Fukui Prefectural Hospital • Department of Respiratory Medicine

PA・立位写真

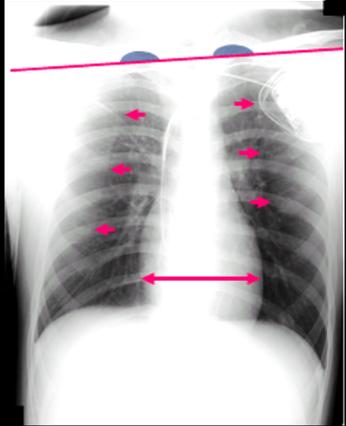


1) 胃泡が気体液面形成  
⇒ 立位写真

2) 第1肋骨と第2肋骨の交叉する外点を結ぶ線より、その上方に含気がない  
⇒ PA写真

Fukui Prefectural Hospital • Department of Respiratory Medicine

AP・背臥位写真



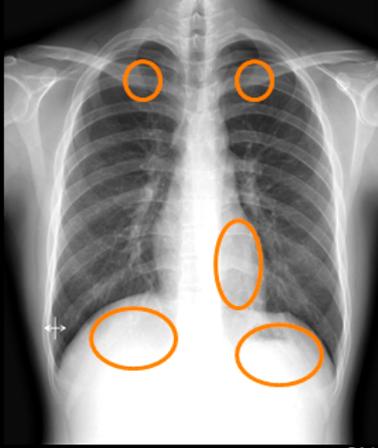
1) 肩甲骨内側縁が肺野中央に投影  
⇒ AP写真

2) 第1肋骨と第2肋骨の交叉する外点を結ぶ線より、その上方に含気がある  
⇒ AP写真

3) 心臓が立位での写真より大きい  
\* AP写真での心胸郭比は55~57%以下

Fukui Prefectural Hospital • Department of Respiratory Medicine

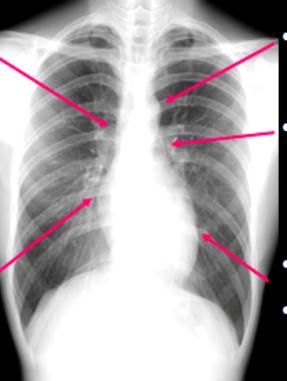
肺野の読影



骨や臓器と重なる部分を注意・注目する

Fukui Prefectural Hospital • Department of Respiratory Medicine

心血管影



・上大静脈

PA写真では、胸椎右縁より1cmを超えることは少ない

・大動脈弓

・肺動脈流出路

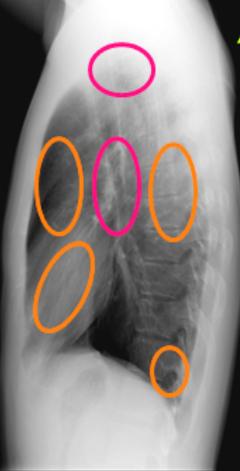
・右房辺縁

・左心耳

・左心室

Fukui Prefectural Hospital • Department of Respiratory Medicine

側面写真でこれを補う



肺尖部、肺門部は無力

Fukui Prefectural Hospital • Department of Respiratory Medicine

毎年4月に主に初期研修医の先生を中心とした胸部単純写真の読影の基本についての講義です。CTと対比した単純写真の読影の基本となる様々な線(ライン)の成因と意味の解説と、実際の症例提示がありました。この時期の研修医にはいつもインパクトのある内容です。

〔文責：放射線科主任医長 吉川〕